



文化庁委託事業
「2019年度戦略的
芸術文化創造推進事業」

広島交響楽団



ベートーヴェン生誕250年プロジェクト/2016-2020 and beyond
Beethoven's 250th Anniversary / 2016-2020 and beyond Project

～すみだ平和祈念音楽祭2020～

指揮/
クリスティアン・アルミンク
Christian Arming/Conductor
©Shumpei Ohsugi

ピアノ/
マルタ・アルゲリッチ
Martha Argerich/Piano
©Y.Koseki

ヴァイオリン/
佐久間聡一
Soichi Sakuma/Violin
©KONTA Inc.

チェロ/
マーティン・スタンツェライト
Martin Stanzel/Violoncello

ソプラノ/
森麻季
Maki Mori/Soprano
©Yuji Hori

メゾ・ソプラノ/
金子美香
Mika Kaneko/Mezzo-Soprano
©Yoshinobu Fukaya(aura)

Music for Peace Concert



合唱/栗友会合唱団 Ritsuyukai Choir/Chorus ©渡辺力

テノール/
西村悟
Satoshi Nishimura/Tenor
©Yoshinobu Fukaya(aura)

バリトン/
大西宇宙
Takaaki Ohnishi/Bariton
©Dario Acosta

2020.3.12木 19:00開演
(18:30開場)

Thurs.March 12, 2020 Start19:00 (Open18:30)

すみだトリフォニーホール 東京都墨田区錦糸1-2-3
Sumida Triphony Hall, Tokyo

チケット料金

S席:13,000円 A席:11,000円 B席:9,000円

プレイガイド [チケット発売日:6月2日(日)/広響事務局6月3日(月)]

トリフォニーホールチケットセンター (03-5608-1212)

トリフォニーホールチケットオンライン (www.triphony.com)

※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料)への登録が必要です。

ローソンチケット(Lコード:33183)、チケットぴあ(Pコード:150-268)

広響事務局

主催:文化庁、公益社団法人広島交響楽協会

共催:公益財団法人墨田区文化振興財団

(すみだトリフォニーホール指定管理者)

協力:KAJIMOTO

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する可能性があります。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

託児サービスのご案内

【お申込み・お問合せ】0120-500-315 (平日:10:00~17:00)

(※小学館集英社プロダクション総合保育サービスのHAS(ハズ))

Program

ベートーヴェン

ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための
三重協奏曲 ハ長調 Op.56
〈ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ〉

Beethoven:

Triple Concerto for Piano, Violin, Violoncello and Orchestra
in C major Op.56

ベートーヴェン

交響曲第9番ニ短調 Op.125「合唱」

Beethoven:

Symphony No.9 in D minor Op.125 "Choral"

Guest Musician

バイエルン放送交響楽団 Bavarian Radio Symphony Orchestra
第1コンサートマスター/アントン・バラホフスキー
Principal Concertmaster / Anton Barakhovsky

"Music for Peace"を発信するため海外からオーケストラ奏者とジャーナリストを招聘します

お問い合わせ/広響事務局 TEL.082-532-3080 http://hirokyo.or.jp

Music for Peace Concert

すみだ平和祈念音楽祭2020 広島交響楽団ベートーヴェン生誕250年プロジェクト/2016-2020 and beyond



指揮:クリスティアン・アルミンク Christian Arming/Conductor

ウィーン生まれ。ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場の音楽監督などを経て、2003～13年まで新日本フィルの音楽監督として活躍。2011～19年までベルギー王立リージュ・フィルの音楽監督を務めるほか、2017年～広島交響楽団の首席客演指揮者に在任中。チェコ・フィル、ベルリン・ドイツ響、サンタ・チェチーリア国立管、ボストン響、N響など多くのオーケストラに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスプールの歌劇場、新日本フィルなどで《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。



ピアノ:マルタ・アルゲリッチ Martha Argerich/Piano

ブエノスアイレス生まれ。1957年にブゾーニとジュネーヴの国際コンクール、そして1965年のショパン国際コンクールに優勝。以後現代最高のピアニストの一人として芸術活動を続けている。その優れた活動に対してフランス、イタリア、アメリカ、日本などから名譽ある賞を受賞した。1998年より別府アルゲリッチ音楽祭総監督を務める。2015年8月広島交響楽団との初共演の成功で同団の平和音楽大使に就任。広島交響楽団との共演は2016年5月の別府アルゲリッチ音楽祭に続いて、2019年8月のワルシャワ、2020年3月東京と8月の広島で予定されている。



ヴァイオリン:佐久間聡一 Soichi Sakuma/Violin

山形県出身。桐朋学園子供のための音楽教室仙台分室に学ぶ。山形東高等学校から桐朋学園大学へ進み、在学中より新日本フィルハーモニー交響楽団の契約団員を務める。その後、大阪フィルハーモニー交響楽団の首席奏者に就任。退団後ドイツへ渡り、ウルフ・シュナイダー教授に学ぶほか、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・プレーメンに客演するなど研鑽を積み、2014年広島交響楽団・第一コンサートマスターに就任。ソロ活動も充実しており、数多くの室内楽公演に出演するほかCD録音も多数。第23回霧島国際音楽祭特別奨励賞(サントリー賞)ならびに優秀演奏賞受賞。



チェロ:マーティン・スタンツェライト Martin Stanzeleit/Violoncello

ドイツ出身。5歳よりチェロを始める。エッセン国立音楽大学で、ヤン・チョウ氏に師事。同大学を首席で卒業後、ソリストコースでクリストフ・リヒター氏のもとで学ぶ。ジークフリート・バルム、ハインリヒ・シフ、ヤン・シュ・シタルケルの各氏に師事。デンマーク王立歌劇場に入団。コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団にもチェロ首席奏者として招聘される。1998年、広島交響楽団の首席チェロ奏者に就任。2011年、地域の文化活動の発展に功績があったとして、財団法人 けんしん育英文化振興財団より、県民文化奨励賞受賞。2013年、チェロ・ロックバンド「カンターナ」を結成、デビューアルバム「Cellmate」をリリース。2015年には、全曲オリジナル曲による2ndミニアルバム「A Minor Attitude」をリリース。2015年、CD「Live in Karuizawa」をリリース。使用楽器は1691年製フランチェスコ・ルジェーリ。



ソプラノ:森麻季 Maki Mori/Soprano

東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、ミラノとミュンヘンに留学。P. ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞。国内外の著名指揮者および主要オーケストラとの共演に加え、ドレスデン国立歌劇場《ぼらの騎士》、トリノ王立歌劇場《ラ・ボエーム》に出演し、国際的な評価を高める。デビュー20周年記念アルバム「至福の時～歌の翼に」をリリース(エイベックス・クラシックス)。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。



テノール:西村悟 Satoshi Nishimura/Tenor

日本大学芸術学部、東京藝術大学大学院修了。リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位、日本音楽コンクール第1位。山田和樹&スイス・ロマン管とメンデルスゾーン「讃歌」、佐渡裕&ケルン放響「第九」、小林研一郎&名古屋フィル&ヴェルディ「レクイエム」、高関健&東京シティ・フィル「ファウストの劫罰」。2016年には大野和士指揮バルセロナ響にて欧州デビュー。オペラでは「ラ・トラヴィアータ」「蝶々夫人」「仮面舞踏会」「ラインの黄金」「魔笛」等に出演。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。出光音楽賞受賞。



メゾ・ソプラノ:金子美香 Mika Kaneko/Mezzo-Soprano

東京音楽大学卒業。同大学院を経てザルツブルグモーツァルテウム音楽院修了。二期会『ワルキューレ』グリムゲルテ、『ウリッセの帰還』ベネロベ、『オテロ』エミーリア、『魔笛』侍女Ⅲ、びわ湖・神楽川県民ホール『ワルキューレ』シュヴェルトライテ、新国立劇場『ラインの黄金』フロスヒルデ、『カルメン』メルセデス、日生劇場『魔笛』侍女Ⅲ、東京・春・音楽祭『ラインの黄金』ノルン1・フロスヒルデ、『ワルキューレ』シュヴェルトライテ、『神々の黄昏』フロスヒルデで出演する他、18年にはバイロイト音楽祭『ワルキューレ』グリムゲルテで出演を果たす。二期会会員



バリトン:大西宇宙 Takaoki Ohnishi/Bariton

武蔵野音楽大学及びジュリアード音楽院修了。シカゴ・リリック・オペラ歌劇場で研鑽し、全米でテレビ放映された世界初演オペラ「Bel Canto」に主要キャストの一人として携わった他、「エフゲニー・オネーギン」「カルメン」「リゴレット」、ブランド・ドミンゴ主演のガラ・コンサートなどに出演。2018年、ニューヨークのPremiereオペラ財団国際声楽コンクールにて優勝。2019年、カーネギーホールにおいてシベリウス「クレルヴォ交響曲」のバリトン・ソロを務めるなど国内外で活躍している。第30回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。大西宇宙オフィシャル・ホームページ <https://www.takaokionishi.com/>



合唱:栗友会合唱団 Ritsuyukai Choir/Chorus

栗山文昭を音楽監督・指揮者とする混声合唱団4つ、女声合唱団6つ、男声合唱団2つで構成。各団の演奏会、レコーディング等と共に「栗友会」としても活動。近年の主なオーケストラとの共演は、新日本フィル・「第九」特別演奏会(1993年以來連続出演中)、ハーディング指揮・新日本フィル・ブリティッシュ戦争レクイエム、ハーディング指揮・新日本フィル、ヤルヴィ指揮・NHK交響楽団、山田和樹指揮・日フィル・マラー「交響曲第8番(千人の交響曲)」、上岡敏之指揮・新日本フィル・オルフ「カルミナ・ブラーナ」・マラー「交響曲第2番(復活)」、ジャッド指揮・新日本フィル・ロッシェニ「スターバト・マートル」。



広島交響楽団 HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラは、2017年4月より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール(広島初)で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。これを機にアルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。2016年4月にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデが広響ミュージック・パートナーに就任した。これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

広島交響楽団 “Music for Peace”

— 2020年、そして未来に向けて

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、国際平和文化都市であり世界的な認知度を持つ「広島」のオーケストラとして、世界に音楽文化と平和発信する公演を企画し実現に向けて取り組んでまいります。2020年が生誕250年となるベートーヴェンの作品で、文化芸術を高らかに奏でることにより、平和と文化の祭典としてのオリンピックを盛り上げたいと考えています。

以上の事業指針のきっかけとなったのは、ショパン国際ピアノコンクールで深くポーランドと係わりを持ち、「原爆投下とホロコーストを第2次世界大戦でのもっとも恐ろしい犯罪」とし、「Music Against Crime」「音楽は人を愛することを育み、人を傷つけさせる気持ちを萎えさせる力」と言うマルタ・アルゲリッチ氏(広響平和音楽大使)の信念と当団のテーマ、「Music for Peace」が共感したことに因ります。

— 事業の指針

- 日本国内そして世界に向けた平和のメッセージと文化発信を行います。
- 世界的な平和発信のために海外オーケストラ奏者の招聘と交流を行います。
- 海外への情報発信も積極的に行います。



Music for Peace Concert